

内容

1. ソフトテニス部員に贈る言葉
2. 全日本実業団出場メンバー紹介
3. 部長杯争奪戦試合結果
4. 国際(新)ルールについて
5. 新人紹介
6. 平成6年度公式戦試合結果

1. ソフトテニス部員に贈る言葉

“敬天愛人(天を敬い、人を愛す)”これは私が結婚式などで色紙によく書く言葉で私の生まれ故郷である鹿児島県の“西郷さん”の漢詩集で知った言葉である。この言葉は“西郷さん”の考え方を良く表したものであり、皆さんが西郷隆盛に関する本を読まれるときに必ず目にする言葉である。私もこの言葉にそった行動をしようと思いついて、思うと行うとはなかなか大きな隔りがあり反省させられることが多い。

“天を敬う”とは自然を大切に、逆らわずに有りのままに受け入れること、また、年配の方や、両親を大切にすることと考えている。私も色気付いた年頃に祖母と一緒に連れ立って歩くことを避けていたこともあった。年を重ねた今振り返って“ああ、何て心の狭い見だったんだ。もっと親切にしておけば良かったのに。”と思ってみても今は故き祖母に対して答えるのみである。子を持って初めて親の恩を知るという言葉があるが、やはりそれ相応の年齢にならないと分からないものなのか。優しくお婆さんの手を引いて歩いている若い人を見ると感心することしきりである。ソフトテニス部の若い皆さん、自然を大切に、お年寄りやご両親に礼を尽くして親切にしていきましょう。

“人を愛す”とは読んで字のごとく、人と仲良くすることである。また、相手の身になって考えることでもありと理解している。これは実行することがまた難しい。自分中心で物事を考えるのは本能的に出来るものである。相手の気持ちになり、色々と激励やアドバイスをしてもそれがそのまま伝わらずに誤解を受けるときもある。しかし、言葉や行動に愛情がこもっているとそのうちに相手に伝わっていくものである。コミュニケーションの輪を広げるには心から愛情のこもった言葉が必要である。我々テニス部員は最近よく練習もし、立派な戦績も残している。個人のレベルは練習もさる事ながら仲間の激励やアドバイスで一段とアップするものである。個人のレベルアップは即団体のレベルアップにつながる。ソフトテニスは団体競技という性格を色濃く残したスポーツであるが故に、ソフトテニス部の皆さん、互に心暖まる激励やアドバイスをお願いします。

ソフトテニス部の季報発行にあたり、高い目標をしっかりと見据えさらに前進するためにこの“敬天愛人”の言葉を贈ります。

ソフトテニス部長 内 泰弘

2. 全日本実業団出場メンバー紹介

今年、部創立以来2年ぶり4度目の全日本実業団出場をはたした。本戦では残念ながら当部の目標であったベスト16入りは果たせなかったがその出場メンバーを紹介しよう。

プロフィール

名前
役柄
ポジション
特徴

大西優光
後衛
若いながらも球持ちの良さコントロールはバツグン。将来が楽しみ

高橋 信
前衛
今年のニューフェイスライバルは内山さんと血気盛ん。

比留川徳義
助監督
後衛
テニス仙人の厳しい修行に耐えた努力の後衛今悟りを開こうとしている。

和田 諭
副主将
後衛
脚力とサーブのパワーは魅力。将来が楽しみ。

石井裕二
主将
前衛
勝負どこのカケヒキの旨さはバツグン。前衛の柱。



毛塚隆久
副主将
前衛
雨にも風にも負けずとにかく練習の前衛。その成果が出るのも近いだろう。

名取一幸
副主将
前衛
テニス界の生んだサラブレッド前衛。勝負時の爆発力は凄い。

阿部藤彦
総監督
後衛
理論、技術共充実している彼のことを人はテニス仙人と呼ぶ。彼を越えるのは神のみか？

内山聡太郎
前衛
陽気な性格軽快な身のこなしでテニス仙人とペアを組む悟りを開くのはいつの日か。

太田孝史
監督
後衛
日本人並みはずれた体力と脚力はいまだ他を圧倒。後衛の柱。



3. 部長杯争奪戦試合結果

公式戦よりも勝つのがむずかしい？部長杯争奪戦も今年になって50回を迎え当部の伝統行事になりました。ここに第49回、50回、51回の優勝者の写真と順位結果を掲載します。

第49回部長杯 (H5年12月実施)

優勝



太田・福田組

福田「若いのは集中力が足らん」
太田「まったくです」

- 第2位 宮本・名取組
- 第3位 加藤_和・内山組
- 第4位 内・石井組
- 第5位 渡辺・木藤組
- 第6位 石原・比留川組
- 第7位 岩原・加藤_和組
- 第8位 石原・比留川組

第50回部長杯 (H6年3月実施)

優勝



岩原・名取組

名取「本当に優勝して良かったのかな？」
岩原「当然だ」

- 第2位 成田・毛塚組
- 第3位 高橋_浩・鈴木_宗組
- 第4位 内・加藤_和組
- 第5位 清滝・阿部_雅組
- 第6位 木藤・小松組
- 第7位 和田・高峰組
- 第8位 杉山・内山組

- 第9位 福田・石井組
- 第10位 加藤_和・川越組
- 第11位 佐藤_周・大西組
- 第12位 奥村・比留川組



第51回部長杯 (H6年8月実施)

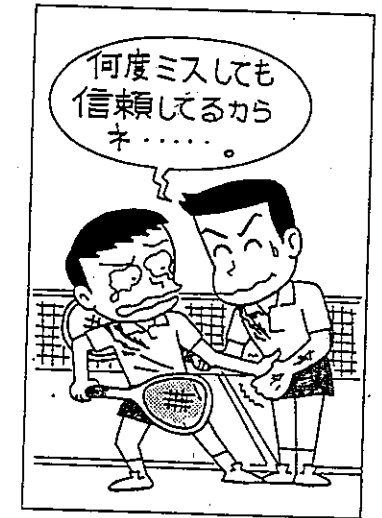
優勝



阿部藤彦・奥村組

阿部_雅「奥村さんのひたむきさに心打たれたよ」
奥村「阿部さんのおかげだよ」

- 第2位 比留川・高橋_浩組
- 第3位 宮本・成田組
- 第4位 福田・鈴木_宗組
- 第5位 石原・高橋_浩組
- 第6位 岩原・小松組
- 第7位 内・木藤・和田組
- 第8位 石井・梅沢組

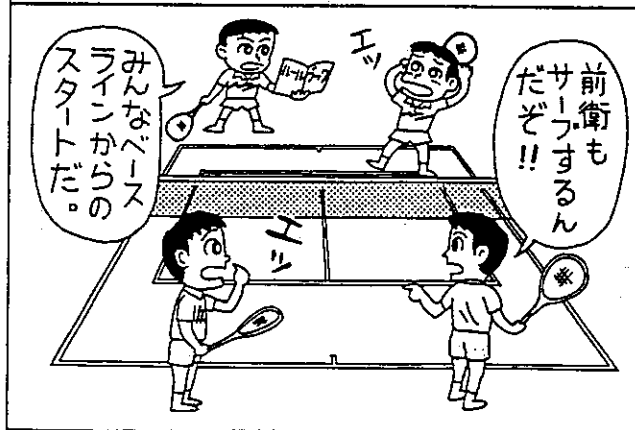


4. 国際 (新) ルールについて
 今年から公式戦のルールが国際 (新) ルールになり賛否両論ですがまだ把握していない方の為にこのルールを改めて掲載します。

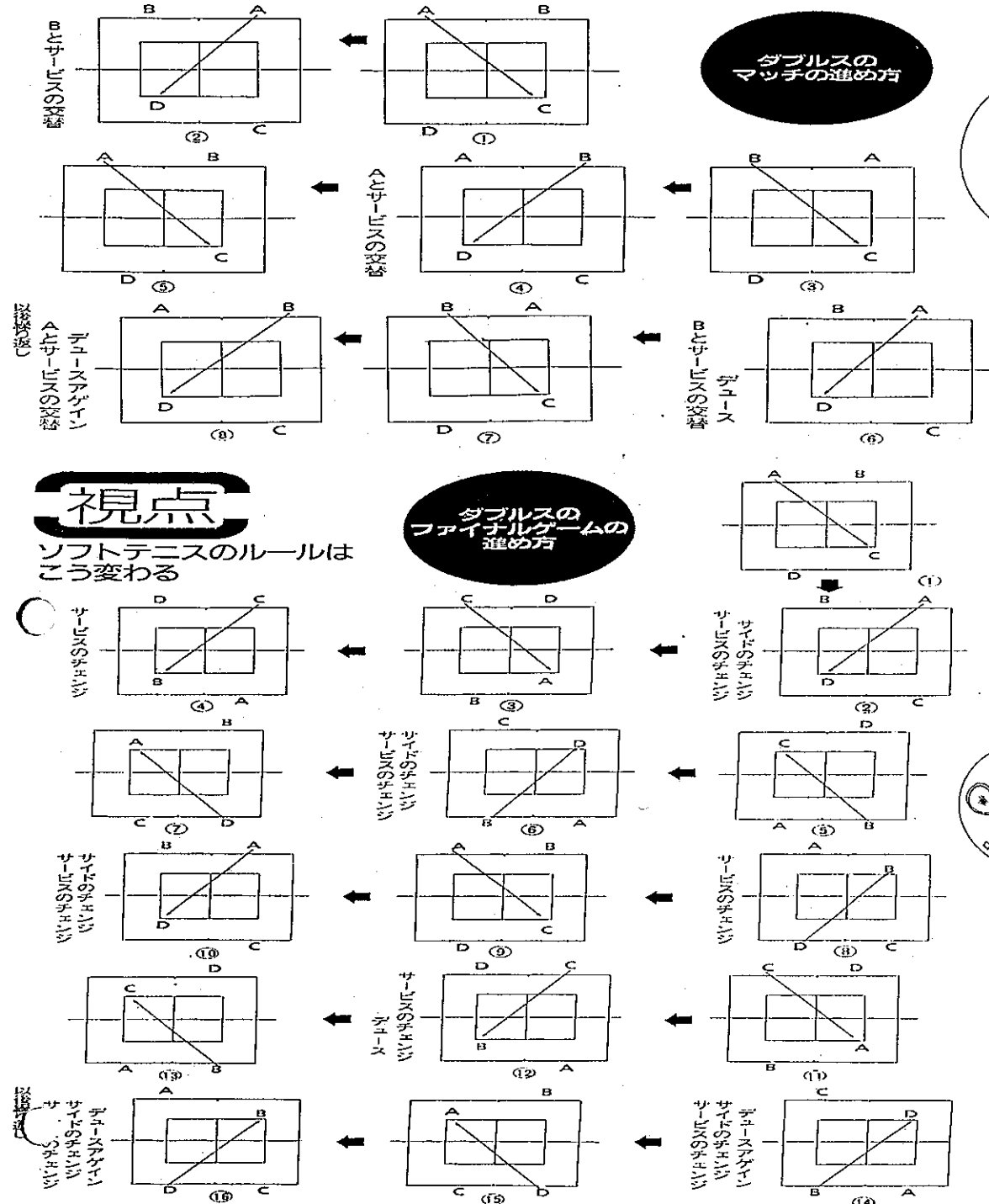
ダブルスにおける新ルール	新ルール
ゲームの開始 第2条 ゲームはポイント先取で決まる。ただし、双方の選手が、コート内に入らない限り、ラリーは続行する。	ゲームの開始 第1条 ゲームはポイント先取で決まる。
サーブの順序 第4条 サーブは、サーブの権利を持つ選手が、コート内に入らない限り、ラリーは続行する。	サーブの順序 第1条 サーブは、サーブの権利を持つ選手が、コート内に入らない限り、ラリーは続行する。
ラリーの進行 第5条 ラリーは、ボールがコート内に入らない限り、ラリーは続行する。	ラリーの進行 第1条 ラリーは、ボールがコート内に入らない限り、ラリーは続行する。
ポイントの獲得 第6条 ポイントを獲得するには、ボールがコート内に入らない限り、ラリーは続行する。	ポイントの獲得 第1条 ポイントを獲得するには、ボールがコート内に入らない限り、ラリーは続行する。

ダブルスにおける新ルール	新ルール
ダブルスの進め方 第7条 ダブルスの進め方は、各選手が、コート内に入らない限り、ラリーは続行する。	ダブルスの進め方 第1条 ダブルスの進め方は、各選手が、コート内に入らない限り、ラリーは続行する。
ダブルスの進め方 第8条 ダブルスの進め方は、各選手が、コート内に入らない限り、ラリーは続行する。	ダブルスの進め方 第1条 ダブルスの進め方は、各選手が、コート内に入らない限り、ラリーは続行する。
ダブルスの進め方 第9条 ダブルスの進め方は、各選手が、コート内に入らない限り、ラリーは続行する。	ダブルスの進め方 第1条 ダブルスの進め方は、各選手が、コート内に入らない限り、ラリーは続行する。
ダブルスの進め方 第10条 ダブルスの進め方は、各選手が、コート内に入らない限り、ラリーは続行する。	ダブルスの進め方 第1条 ダブルスの進め方は、各選手が、コート内に入らない限り、ラリーは続行する。

- ルールのポイントとしては、
1. 前・後衛とも2本づつ交互にサービスをする。
 2. 誰かがサービスをしている時はレシーバー以外コート内に入れない。
 3. ファイナルゲームは7ポイント先取で決まる。
 4. ファイナルゲームは2ポイント毎に [チェンジサイズ] ~ [チェンジコート] を繰り返しサービスも前・後衛で交替する。というところでしょう。

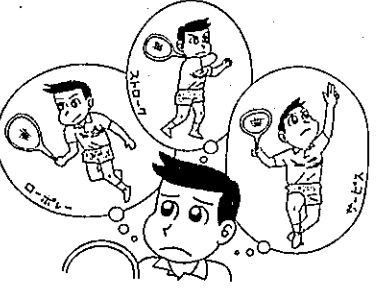


ダブルスにおける新ルール

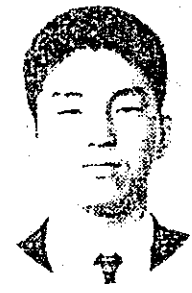


視点
ソフトテニスのルールはこう変わる

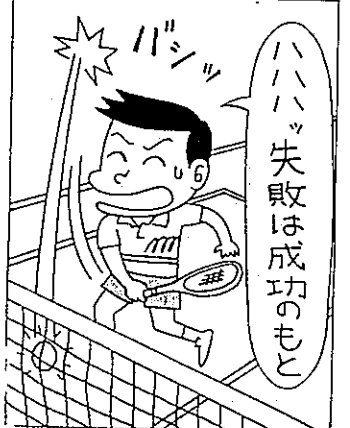
ダブルスのファイナルゲームの進め方



5. 新人紹介
今年1名有望な新人が入部してきました。紹介します。



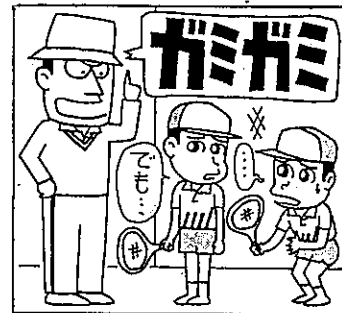
- ・名前 高橋 信
- ・出身校 向上高校
- ・血液型 AB型
- ・特技 そろばん2級
- ・抱負 将来の一番手を目指し頑張る。



6. 平成6年度公式戦試合結果

平成6年のソフトテニス公式戦ももうすぐシーズンオフとなります。輝かしい成績を載せましょう。

日付	県大会	日付	重工・市大会
4/3	春季大会(横山) 男子 清水・名取組 3位になる。 女子 加藤・大田原組 3位になる。	5/8	市民選手権大会(横山) 一般男子の部 比留川・毛塚組 優勝する。
4/17	関東選手権大会県予選(横須賀大津) 男子 阿部・内山組 太田・高橋組 6/11・12 本戦(水戸)へ 清水・名取組(県連推薦) 当部目標中央大会4チーム 女子 加藤・大田原組 以上出場なる!	5/22	春季大会(横山) 一般男子の部 阿部・内山組 優勝する。 太田・高橋組 準優勝する。 比留川・名取組 3位になる。
4/24	東日本選手権大会県予選(川崎) 男子 阿部・内山組 太田・高橋組 和田・石井組 7/23・24本戦(大宮)へ 清水・名取組(県連推薦) 女子 加藤・大田原組 鈴木・杉山組	7/3	市長杯争奪戦(横山) 一般男子Ⅱ部 石原・阿部組 準優勝する。 一般女子Ⅰ部 加藤・大田原組 優勝する。 鈴木・杉山組 準優勝する。
5/8	国体一次予選(平塚) 女子 加藤・大田原組一次通過	7/30・31	重工本大会(岡崎) 事業所対抗戦準優勝する。 メンバー 渡辺・阿部・石井・川越 木藤・小松・和田・内山
6/5	全日本実業団選手権大会県予選(平塚) 三菱重工相模原県代表となる。 8/6・7 本戦(会津若松)へ メンバー 阿部・太田・比留川・石井 当部目標本戦ベスト 和田・内山・大西・高橋 16入りならず。残念!		
6/19	全日本社会人県予選(横山) 男子 太田・高橋組 清水・名取組 9/2・3・4 本戦(端前)へ 女子 加藤・大田原組(県連推薦) 鈴木・杉山組		
7/1・2	ソフトテニス関東実業団リーグ(白子) 三菱重工相模原Ⅲ部残留。 当部目標Ⅱ部入りならず。残念! メンバー 阿部・太田・比留川・石井・名取・毛塚 和田・内山・大西・高橋		



平成6年度ソフトテニス部総務残行事

10/11(火) ボーリング大会&懇親会

10/29(土) ファミリーフェアテニス教室準備

10/30(日) ファミリーフェアテニス教室

11/下旬

第52回部長杯争奪戦&懇親会(宮本さん御招待)

御協力をお願いします

編集後記

前回の季報と内容をだいぶ変えましたが御了承ください。ソフトテニス部総務では皆様と一緒に、この季報を熟成させて行きたいので御意見、御希望がありましたら総務までお願いします。